



ステークホルダーの皆様へ

## TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第49期第2四半期の決算の状況についてご報告いたします。

当第2四半期におきましては、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが引き下げられるなど、事業環境の改善が前期よりもさらに一段階進んだものと考えております。

業務用カラオケ事業におきましては、4月にフラッグシップモデルの最新機種として「LIVE DAM AiR (ライブダム・アイアール)」を発売し、うたう楽しさをさらに追求した機能の拡充が好評をいただいております。旧機種から新機種への入替を推進することによる安定的収益基盤の強化に努めたほか、DAMの強みである映像コンテンツをさらに充実させることにより、商品力強化を図りました。また、エルダー市場におきましても訪問営業が可能となる施設が増えてきており、稼働台数増加に努めております。

カラオケ・飲食店舗事業においては、ビッグエコーの35周年を記念した様々な施策を実施することで、コロナ禍によりカラオケを楽しむ機会の減ってしまっていたライトな客層を中心に、「うたいたい」という需要の喚起を図りました。また、飲食店舗においては予約受注が好調に推移してコロナ前を上回る集客をいただいております。新たなニーズに対応するブランド開発も継続しております。

その他事業においては、当社事業の第三の柱とすべく注力しておりますパーキング事業が堅調に規模を拡大するなかで、テレビCMなどを通じて「土地活用といえば『ザ・パーク』」という認知拡大を図りました。

これら各事業で諸施策を実施した結果、当第2四半期の業績は、パーキング事業の伸長も貢献し、第2四半期として過去最高の売上高となりました。今期は、通期業績としても売上高1,445億円、営業利益180億円、経常利益191億円、親会社株主に帰属する当期純利益127億円と、コロナ前に迫る水準を見込んでおり、下期も引き続き、「うたって楽しく、健康にも良い」カラオケの需要喚起と、安定的収益基盤の強化を推進してまいります。

当社は、これからもカラオケのリーディングカンパニーとして、“もっと音楽を世に もっとサービスを世に”の社是のもと、より一層カラオケの魅力を高めることによりカラオケ産業全体の発展や健康寿命延伸などの社会課題解決に寄与し、当社グループとしても成長を続けてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 保志 忠郊

ようこそ、  
驚きのAi体験へ。

もっと気持ちよく歌いたい。  
歌うことの気持ちよさを、喜びを、感動を、  
今こそ、あらためて全身で体験してほしい。



LIVEDAM AiR

専務執行役員  
開発本部長 兼 エンターテインメント事業本部管掌

## 村井 裕一に聞く

### すべての方々に楽しく歌ってもらうため、常に技術革新に取り組んでいます

#### お客様の想いを叶えてこそそのテクノロジー活用であること

コロナ禍でここ数年は減少したものの、長らくカラオケ人口は約5,000万人前後を維持してきました。まさにカラオケは、日本を代表するエンターテインメントといえるでしょう。世代やシーンを超えて歌う楽しさをご満喫いただくために、当社ではフラッグシップモデルとなる「LIVE DAM AiR」シリーズをはじめとして、ナイト市場向けに「Cyber DAM」、エルダー向けに「FREE DAM」、そして宴会場向けに「Party DAM」と商品ラインナップを拡充しながら業界で確固たる地位を確立してまいりました。

その一翼を担うのが、私たち開発本部です。守備範囲は広く、カラオケ本体、デンモク類からマイク・アンプ・スピーカーといった周辺機器の開発、ネットワークシステムの開発や楽曲配信運用、さらにコンシューマビジネスなどを展開しております。

開発本部と言うととかく技術偏重の部署に思われがちですが、私たちが肝に銘じているのはもっと楽しく、もっと気持ちよく歌いたいというお客様の尽きない想いを叶えてこそその技術革新であるということ。最新技術だからという自己満足に陥ることなく、常に顧客満足に軸足を置いた開発姿勢を大切にしております。

#### 「LIVE DAM AiR」の投入を機に、さらなる顧客満足とシェア拡大へ

カラオケの醍醐味は、誰もがヒーローやヒロインとしてのひと時を演じられる喜びに尽きます。それだけにお客様のご要望は、カラオケ楽曲やライブ映像の充実からはじまり、音響や映像の品質、採点ゲームの精密さや楽しさ、臨場感と限りがありません。そうした想いに最大限にお応えするために、当社では音声認識などのAI技術や高度な音響技術を結集した「LIVE DAM Ai」を2019年10月にリリースいたしました。そして今年4月、前作の機能性をさらにブラッシュアップして誕生させたのが、「LIVE DAM AiR」です。

この新たなフラッグシップは、マイクに呼びかけることで曲の予約などができるAiアシスタントや人の感性をも評価に反映する精密採点Ai、コンサートホールの臨場感を再現したライブサウンドなど「LIVE DAM Ai」で大きな支持をいただいた機能に加えて、インバウンド需要に応えるAiアシスタントの多言語化やサウンド的には観衆の歓声やコール&レスポンスまでも再現したライブホールを体験いただけるなど、新



たな自信作としての魅力にあふれております。

コロナ禍がようやく落ち着いた今、この「LIVE DAM AiR」の市場投入を機に、お客様には当社「DAM」ならではの音質と本人映像・ライブ映像やTVでもおなじみの精密採点の魅力をも再認識していただくとともに、想像を超えたカラオケの感動を日本の老若男女のお客様はもちろんインバウンドで訪れる外国の方にまで体験していただくことで、さらなる市場シェアの拡大が図れるものと確信しております。

#### これからも、「Singing 歌いながらいこう」の企業メッセージと共に

登場から30年、通信カラオケは技術革新を先取りしながら進化を続けております。それだけに私たち開発本部では、音響技術・クラウド技術・音声認識・レコメンド技術やさらに高度な採点技術などの研究開発を進めております。その一方で日々進化する最新の技術動向を把握し新たな商品やサービスに応用していくためには社内の開発スタッフだけではなく、企業や大学機関などの共同研究を展開しながらチャットGPTやメタバースなどの先進技術にも、次世代カラオケに取り入れられるものは無いか試行錯誤しております。

私は決してカラオケが得意ではないのですが、好きな曲を上手く歌えた時はやはり気持ちが高揚します。頑張って歌ったことが上手くいって、みんなが喝采してくれる。そんな達成感をもっともっと多くの皆様に体験していただくために、これからも当社グループの企業メッセージ「Singing 歌いながらいこう」を念頭に、より魅力的な商品開発に全力で取り組んでまいりますのでどうぞご期待ください。

### 「LIVE DAM AiR」の注目ポイント

#### ① Aiアシスタントがさらに機能アップ

候補曲リスト表示により「しゃべって予約」がより使いやすくなったほか、「もしもし、DAM！」で英語・韓国語・中国語の発話に対応。

#### ② 多彩な音質空間がさらに充実

ライブサウンドに、アニメ関連のライブも多数開催されている「ざいたまスーパーアリーナ」と、まるで有観客のライブ会場のアーティスト気分が体験できる「エキサイトライブホール」を新たに追加。



## LIVE DAM AIR

### ▶ 【サザンオールスターズ×Singingスペシャルキャンペーン】開催！



#### サザンオールスターズ Singingスペシャルキャンペーン

[https://www.clubdam.com/campaign/collaboration/202307\\_bb\\_southernallstars.html](https://www.clubdam.com/campaign/collaboration/202307_bb_southernallstars.html)

当社は、今年デビュー45周年を迎えたサザンオールスターズと【サザンオールスターズ×Singingスペシャルキャンペーン】と題して、様々な企画を展開しています。

通信カラオケDAMでは、「盆ギリ恋歌」の本人映像を独占配信しているほか、『茅ヶ崎ライブ2023』の開催を記念して、迫力のライブ映像をお届けする通信カラオケDAMのコンテンツ「ライブビュー！」において、茅ヶ崎公園野球場で行われた伝説の野外ライブ『SUPER SUMMER LIVE 2013“灼熱のマンピー!! G★スポット解禁!!”』の貴重なライブ映像を独占配信しています。

また、サザンオールスターズを起用したCM【DAM[Singing] 2023 Special Project CM】を全国で放映しています。

サザンオールスターズとタッグを組み、皆様にもっとカラオケを楽しんでいただくための様々な施策を展開します。



## ビッグエコー最新の取り組み

### NEW ビッグエコー35周年を記念したキャンペーンを実施

ビッグエコーは、9月14日に35周年を迎えました。

4月から、お世話になったお取引先への感謝の意を込めて、企業とのコラボレーション企画【グッドカンパニールームプロジェクト】を立ち上げ、9月には、皆様に感謝の気持ちを込めて店頭のかじ引きでお得なクーポンが当たる大感謝祭を実施しました。

また、カラオケNo.1を決定する「ビッグエコーカラオケグランプリ」を開催します。予選エントリー（9月14日～11月30日）いただいた中から14組（予定）を選出し、2024年1月20日に東京・MARUNOUCHI BASEで決勝大会を開催します。

最新機種 of 早期導入による設備面の強化はもちろん、様々な施策を打ち出し、コロナ禍でカラオケから遠ざかっていたお客様層の呼び戻しを図ります。



## ■ 新ブランド開発による新たな顧客ニーズの開拓

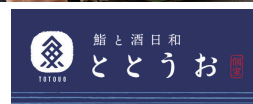
当社グループの運営する飲食店舗「DKダイニング」では、都心部駅前立地を中心に、個室ダイニングやバー、バル、ダーツバー、食事業態など、30種近くのブランドを展開しています。

様々なお客様の新たなニーズに対応するため新ブランドの開発を推進しており、10月にはアメリカンスタイルの料理と国内外のドラフトビールが楽しめるFOREST DINER（フォレストダイナー）を北海道・札幌に、11月には全席和モダンな個室でこだわりのお寿司と豊富な肴を楽しめる「鮨と酒日和 とうお」を東京・秋葉原にオープンいたしました。

今後もDKダイニングの新たなブランドにご期待ください。



**FOREST DINER**  
 札幌店  
 10月25日オープン



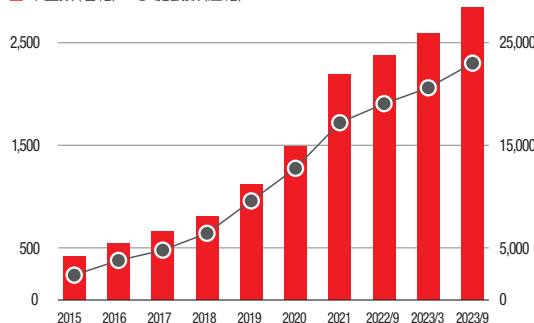
**鮨と酒日和 とうお**  
 秋葉原駅前店  
 11月1日オープン

## ■ パーキング事業「ザ・パーク」

地域に密着したカラオケの営業網を活用し「ザ・パーク」の名称でコインパーキング事業を推進しています。新規出店が好調に進展し、2023年9月末時点では、2,300施設、28,000車室を超える規模に拡大しました。今期は土地オーナー様に向けたテレビCMなどを通じて「土地活用といえば『ザ・パーク』」という認知拡大を図りました。今後も当社グループの新たな柱の一つとして成長を続けていきます。

施設数・車室数の推移

■ 車室数 (右軸) ● 施設数 (左軸)



## ■ DKエルダーシステム

DKエルダーシステムの最新機種であるFREE DAM LIFEには、運動・認知・口腔・歌唱のカテゴリーに応じて、進行プログラムを自動で作成・再生する「おまかせレク」や、実行する進行プログラムを最大5カ所の施設と同時ペアリングで共有し、遠隔操作することができる「リモートセッション」といった機能のほか、産学共同研究に基づき開発されたコンテンツや、利用者様の実際の声から生まれたコンテンツなど、楽しくて使える人気プログラムを多数搭載しており、利用施設の職員様から「レクの参加者が増えた」「人手不足のなか、業務負担軽減に繋がった」という声をいただいています。

当社グループは、これからもDKエルダーシステムの普及を通じて、「うたと音楽」の持つ力で心と身体の健康という社会課題の解決に貢献し、彩りある生活と豊かな社会に貢献する企業として持続的な成長を目指します。

### 「DKエルダーシステム」とは

音楽を使う、体を使う、目で観るといったプログラムの提供を通じて「運動・口腔・認知」など、総合的な生活機能の維持・向上の効果が認められています。2023年9月末現在、全国各地の26,000カ所以上の高齢者施設や自治体関連施設などに導入されています。

**FREEDAM LIFE**

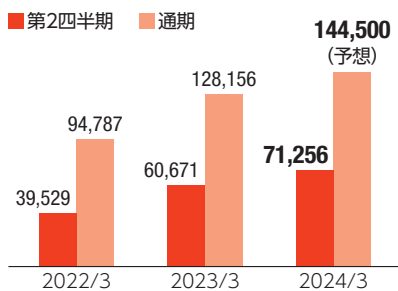


## FINANCIAL HIGHLIGHTS

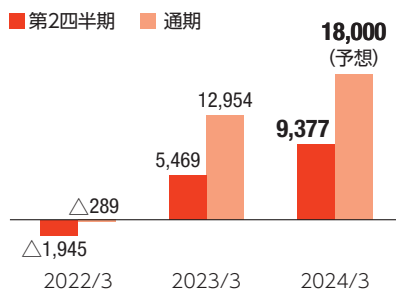
科目	2022/3		2023/3		2024/3	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
<b>経営成績(百万円)</b>						
売上高	39,529	94,787	60,671	128,156	<b>71,256</b>	144,500
営業利益	△1,945	△289	5,469	12,954	<b>9,377</b>	18,000
営業利益率(%)	△4.9	△0.3	9.0	10.1	<b>13.2</b>	12.5
経常利益	△1,176	888	5,773	13,601	<b>9,758</b>	19,100
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△1,429	5,196	5,990	8,320	<b>6,576</b>	12,700
<b>財務状況(百万円)</b>						
総資産	176,804	180,389	184,480	188,623	<b>174,219</b>	—
純資産	101,733	105,160	108,286	107,915	<b>105,860</b>	—
<b>キャッシュ・フロー(百万円)</b>						
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,606	18,165	11,367	24,869	<b>9,446</b>	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,049	△9,297	△5,901	△12,104	△ <b>9,676</b>	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,314	△8,487	△3,500	△9,493	△ <b>19,450</b>	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	57,715	68,125	70,124	71,423	<b>51,810</b>	—
<b>1株当たりデータ(円)*</b>						
1株当たり四半期(当期)純利益	△13.10	47.61	54.86	76.21	<b>60.91</b>	118.85
1株当たり純資産	917.38	948.33	976.51	974.95	<b>976.58</b>	—
1株当たり配当金(中間/期末)	56.00	57.00	56.00	57.00	<b>28.00</b>	29.00
<b>主要経営指標(%)</b>						
総資産経常利益率(ROA)	—	0.5	—	7.4	—	—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	5.0	—	7.9	—	—
自己資本比率	56.7	57.4	57.8	56.4	<b>59.9</b>	—
配当性向	—	118.7	—	74.1	—	48.0

\*2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期(当期)純利益及び純資産については、2022/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しているほか、2022/3期及び2023/3期の1株当たり配当金については当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

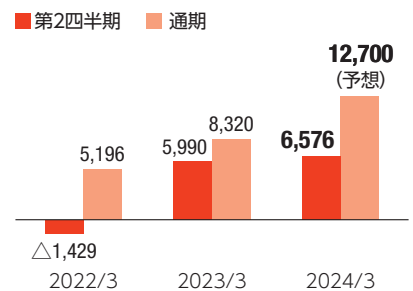
## 売上高(単位:百万円)



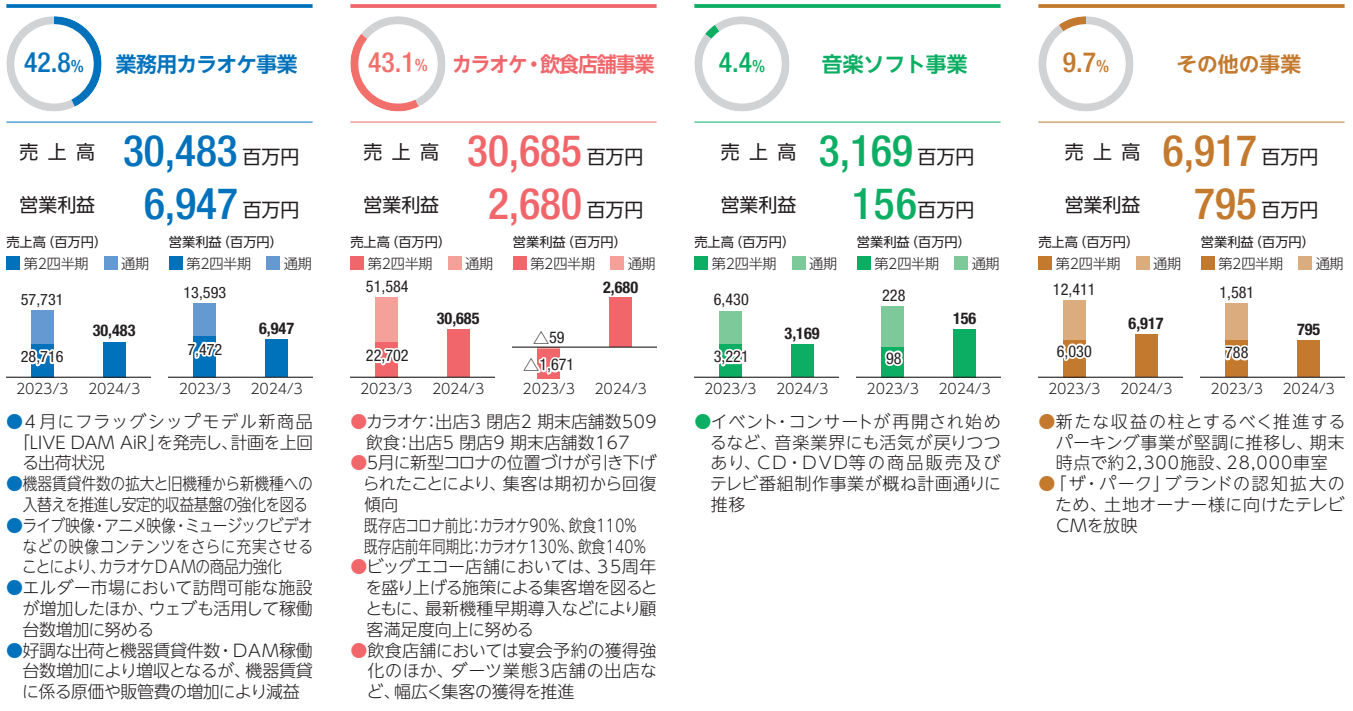
## 営業利益(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(単位:百万円)



## セグメント別概況





J-POP

ベリーグッドマン

彼らの代名詞と言える「パワーソング(応援歌)」は、数多くのプロ野球選手の登場曲として使用されており、学校や部活に励む学生をはじめ、仕事や家事に奮闘するファミリー層からも大きな共感を集めています。

結成10年の節目を迎えた2023年は、阪神甲子園球場100周年記念事業アンパサダー(アーティスト)に就任し、11月には「夢」として掲げてきた阪神甲子園球場でのワンマンライブを決行するなど、ますます勢いを増しています。



J-POP

Jams Collection

2021年3月3日にステージデビューを果たしたガールズグループ。初ステージから圧倒的な人気を獲得し、@JAMやTOKYO IDOL FESTIVALといった大型アイドルフェスでメインステージに立つなど、急成長ぶりを示しています。今年6月より新体制として“小此木流花”“大場結女”が加入して最強の8人体制へと進化を遂げたほか、10月には幕張メッセ国際展示場で行われた6thワンマンLIVE『JamsEvolution!!!!!!』～幕張で“超”沸きまっせ～』を成功させ、さらに大きな注目を集めています。



会社情報

CORPORATE INFORMATION (2023年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社第一興商 (英文表記) DAICHIKOSHO CO., LTD.
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,911名 グループ 3,367名
主な事業内容	業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、その他の事業
連結子会社	国内販売子会社25社、その他国内子会社11社、その他海外子会社2社

株式状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	109,468,400株
株主数	25,413名

大株主

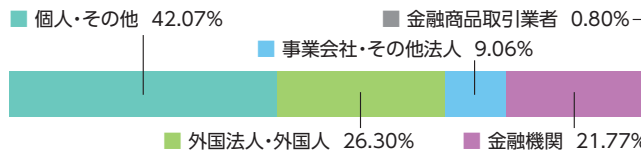
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	14,314	13.40
保志 忠郊	12,492	11.69
保志 治紀	12,239	11.45
JP MORGAN CHASE BANK 380055	5,858	5.48
(株)ホシ・クリエート	4,899	4.59

※ 持株比率は自己株式2,616千株を控除して計算しております。

役員

代表取締役社長	保志 忠郊	取締役(社外)	柏崎 美樹
取締役	保志 治紀	監査役(社外常勤)	梅津 広
取締役	大塚 賢治	監査役(常勤)	小泉 文明
取締役	飯島 毅	監査役(社外)	有近 真澄
取締役(社外)	垂石 克哉	監査役(非常勤)	柴野 浩良

所有者別株式分布



株主優待のお知らせ

2023年9月30日現在の株主名簿に記載された200株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	優待内容	
	年2回発行	
200株以上 2,000株未満	優待券 <sup>*1</sup>	CD交換 <sup>*2</sup>
2,000株以上	500円券×10枚	1枚
	500円券×25枚	2枚

\*1 当社グループが運営するカラオケルーム「ビッグエコー」や「カラオケマック」、「楽蔵」、「ウメ子の家」、「じぶんどき」などの飲食店などでご利用いただけます。  
\*2 優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

**贈呈時期** 2023年12月4日より送付開始  
**有効期間** 2024年1月1日～2024年6月30日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人  
及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

(電話照会先  
郵便物送付先)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話：0120-232-711(通話料無料)  
郵送先：  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部